

高すぎる国民健康保険料の 引き下げを求める請願

岡山市長 大森雅夫 様

請願趣旨

国民健康保険制度は、憲法25条の社会保障の理念にもとづく国民皆保険の土台です。これは、国保が都道府県単位化になっても変わりません。私たちは、引き続き岡山市が、国に対して、減らした国庫負担を元に戻すよう要求すること、市民が安心して、国民健康保険料を「払える額」に引き下げよう強く求めます。

いま、岡山市では、全世帯の3分の1にあたる約10万世帯が国保に加入しています。とくに最近では、経済的に厳しい状況に追いやられている年金生活者や無職者・退職者、零細自営業者に加え、4割近くのパート・アルバイトなど非正規労働者の方が企業の社会保険に加入できず、国保に加入しています。こうした国保世帯の約8割は所得200万円以下です。

この10年間、岡山市の国民健康保険料は、市民の運動と岡山市の努力で据え置きにしてきました。しかし、来年からの国保の都道府県単位化で保険料の大幅な「値上げ」が予測されています。

いまでも、4世帯に1世帯が「滞納」を余儀なくされ、正規の保険証を持ってない世帯（短期証・資格証）が約7000世帯、差押えを受けた世帯が1千世帯という状況です。このままでは、「払いたくても払えない」という世帯が増え、必要な医療を受診できない市民が増えることはあきらかです。こうした事態を防ぐためにも下記の要請事項を実現するためあらゆる手立てを講じるよう要請します。

1、高すぎる国民健康保険料を引き下げてください。

氏名	住所

※記入していただいた個人情報は、署名提出以外の目的には使いません。

岡山市社会保障推進協議会 〒700-0905 岡山市北区春日町5-6 県労おかやま内 Tel.086-234-2041
取り扱い団体 ()